

平成30年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	政策調整課		
------	-------	--	--

基本目標	5 みんなで“創る～ともに支える自立した行政経営～
施策	22 協働のまちづくり

事業の内容		具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1	協働のまちづくり活動の推進	8月17日に住民活動コーディネーターを派遣した。SNSでの情報発信についての理解を深め、活動について発信するための環境を整え実践している。 11月13日にNPO視察研修を実施し、23名が日進市の団体を見学した。空き家を利用した地区の活動などを見学することで理解を深め、今後の扶桑町での活動の参考とした。	B	B
2	まちづくりネットワークの推進	12月16日に2市3町ふれあい協働フォーラムが豊山町で開催され、扶桑町からは26名が参加した。近隣で活動する人たちと意見交換を行い、今後も交流を継続できるような内容であった。 平成31年1月13日に活動団体交流会を開催し、108名の住民が参加した。参加者からは各団体の取り組みが大変参考になったという意見が多くを占めた。	B	B
3				
4				
5				
6				

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値					
		目標値(H34)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	
1 町民の意見の反映状況	町民意識調査で、「町民の意見がまちづくりに反映されているかどうか」の設問において、「よく反映されている」「まあまあ反映されている」と回答した割合（％）	14	-	本計画の中間見直しを行う際に町民意識調査を実施予定であり、そのときに検証を行うため現在は空欄				
		20						
2 住民活動団体登録数	「扶桑町住民活動支援センター」への登録団体数（団体）	37	49	年間3団体の増加を目標としていることから、達成したと考える				
		52	○					
3								
4								

**評価を踏まえた来年度以降の課題**

住民活動をする人は高齢の人の割合が多い。若い世代の人が住民活動に参加してもらえると活動がより活発になるため、活動を促す事業を計画する必要がある。

**評価を踏まえた来年度以降の改善策**

住民活動に興味がある人向けに、年3回の連続講座として「まちづくり入門講座」を開催する。働いている人が参加しやすいよう平日の夜に開催し、まちづくりの先進事例や扶桑町の実例を踏まえ意見交換などを行い、住民活動の中心となる人材を発掘する。

※1 事業の実効性  
 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%)  
 C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度  
 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%)  
 C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)